

月刊*いるま

2018 September



反省文！？

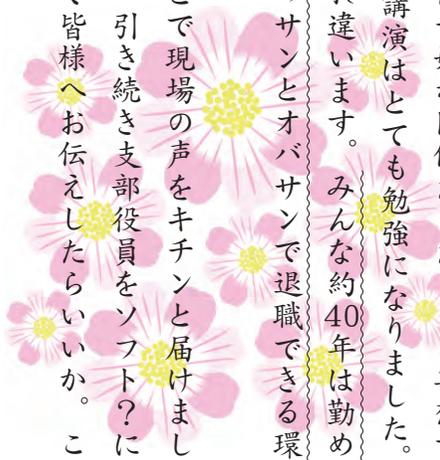
支部長 安附 徹

今期も組合員の皆様に支えられ無事乗り切ることができました。改めてありがとうございます！一年の活動を振り返ります。最後までお付き合いください。

まずは何と言っても所属長交渉！例年通り3回行いましたが、どんなテーマの交渉だろうと冒頭は全てワンパターンで押ししました。「何事にも丁寧な現場への職場説明を求める」この一点です。ついでに、「上局から現場への指示については、部長・課長・先任にはそれぞれ裁量があるのだから、現場の実情に応じ工夫しておろして欲しい」と念押し。ココの言質をしっかりと取れば、現場の問題はなんとか乗り切れるだろうと思っただ次第です。

様々な場面でキーワードになるワークライフバランスについては、私の奥様や娘が同僚だったら？と妄想するところからのスタートでした。管技は男ばかりで・・・女性交流集会の講演はとても勉強になりました。東管の廊下では新人の方から再任用の大先輩まで、老若男女様々な人々とすれ違っています。みんな約40年は勤める大切な職場ですから、消耗するだけの職場じゃなくて、みんなが元氣なオッサンとオバサンで退職できる環境が良いに決まっています！

職種別の課題については、副支部長が幾度となく先任と折衝を繰り返すことで現場の声をキチンと届けました。同様に職場環境については、書記長が課長とやり取りを繰り返しました。引き続き支部役員をソフト？に突き上げてネタを提供して下さい。当面の課題は、折衝内容をどのような形で皆様へお伝えしたらいいか。この点は来季の課題として引き継ぎます（もったいない！）。

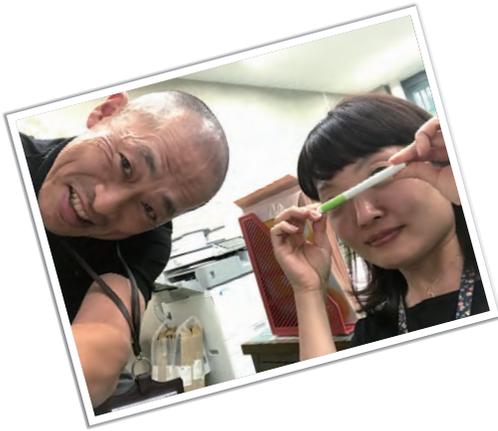


管制支部として外に出るときは、定員削減絶対反対を基本に「公務員、増やしてもいいよね」と一人でも多くの方に思ってもらうために活動しました。世間一般の方々にも共感していただければベストなのですが、エアライン・タクシー・トラック・鉄道等交通に関わる人々にだけは最低でも共感してもらえよう、安全会議と首都圏交運共闘へ注力しました。

組織強化については、まずはしっかりと支部が職場の課題にとりくみ、その上で組織率をあげていければと考えました。また、私を含め支部役員のスキルを継続的に上げていかなければならないと思う一方で、毎年約半数の役員が交代します。しかし、これこそが航空職場の強さだと思うのです。多くの役員経験者に支えられ管制支部は成り立っています。OB・OGの皆様、これからもよろしく願います。

以上、退任にあたり一年を振り返りましたがもしかしたら続投するかもしれません。そのときは新任挨拶に上記をコピペで使いまわすかもしれませんがご了承ください（笑）。

一年間、ありがとうございました。



2018年所属長交渉

2018年7月10日、当部第4会議室にて所属長交渉が行われました。

なお、現執行体制で行われる最後の交渉になります。管制支部の主な要求は以下のとおりです。

- 1、賃金の改善等について
- 2、定員外職員（非常勤職員）の処遇改善、任用について
- 3、職場実態に見合った増員について
- 4、再任用職員の処遇改善について
- 5、休暇制度の改善について
- 6、健康・安全確保、母性保護等について
- 7、管制、管技の職種別の要求
- 8、支部独自の要求（職場環境改善について）



部長に要求書を提出しました

各要求を行う前に部長が交代されたというところで、安附支部長より金子部長に対し、「情報共有と丁寧な職場説明」を行うことを要求しました。

なお、各要求の回答は以下の通りでした。

1、公務員賃金の大幅増額については、政府の一員である以上決定に従わざるを得ないが、現場の士気低下にならないようにモチベーションをどう向上させていくかが、重要な課題であり、職員の処遇改善を含め努力していく。

住居手当に関して、大都市の実

情、単身赴任の職員の方の実情、民間の実態に応じて支給要件の緩和、または増額につき人事院と交渉している。宿舎に関しては国家公務員宿舎削減計画により非常に厳しい状況と理解しているが、状況を改善することにより、皆さんの負担が軽減するように努力していく。

単身赴任手当について、手当の増額は、全国転勤が前提のこの職場にとって経済的に精神的に負担を軽減する大変重要なことであ

る。2015年（平成27年度）に一定の改善がみられたが、まだ十分ではない。今後も二重生活での経済的、精神的負担を軽減すべく要望していきたい。

通勤手当について、交代性勤務で自動車等を利用している職員が多いことは承知している。自己負担額が減らせるよう努力していきたい。

2、定員外職員について、制度がまだまだ不十分であることを認識している。公正な処遇になるよう上申する。

3、交通量が毎年増加し、過去最高を更新し続けている実情を幹部も認識している。上空の安全を守るという使命に対して必要な人員確保できるよう、地道に上局と掛け合い、出来る限り皆さんの要望に沿えるようにしていきたい。

4、現役時代（再任用前）と仕事内容は同じだがそれに見合った処

(5)

遇がされておらず、それが大きな問題となつていると私たちも認識している。特に、定年直前の給料との格差は非常に大きい。年金支給年までの無給期間の不安等も当然あると思う。それらを踏まえた上で、職責にあつた賃金にすべきだと考えており、執行部と同じ考えである。現役職員の士気の低下にもつながりかねない為、処遇改善を引き続き上申していきたい。

5、輪番勤務である管制官にとつて要員が少ない中、現行の3か月間で夏休み3日連続取得が難しい旨は認識している。しかし、取得期間の拡大は制度設計そのものに踏み込むので、自分達の代だけで改善につなげるのは難しい。管制官の特殊性を訴えたり、他官署と足並みを揃えて要求をしていけば理解を得やすく効果的かもしれない。現段階での即改善は難しいが、要求方法も引き続き勉強していきたい。

6、産前産後休暇の期間延長要求については従来からの要求であり、それが職員の福利厚生の実に繋がる事も認識している。育児休暇期間は無給のため代替要員を要求できるが、産前産後休暇は特別休暇で有給となるため、代替要員を要求することは予算の制度上、非常に難しい。全体的なバランスを見ながら、要求の仕方方法を引き続き勉強していきたい。

また、国交省としてもワークライフバランス、働き方改革を進めている。その一環として、両立支援チェックシートや子育て両立申告書等を導入している。育児や介護が発生しそうな職員の状況を、適切な時期に把握できる仕組みを整え、早い段階で最善の対応ができるようにしたいと考えている。これらの問題についても結局は増

員が解決策だと考えている。引き続き増員を要求していく。

7、管制技術官の要求としては、職務評価に対しての待遇改善と、職務の困難性を考えて、級別定数や俸給調整額、諸手当等の改定を要求した。

管制職場の要求は長期在職者の異動も考慮した要員配置と資格数の確保である。

8、支部独自の要求として、①寝具の交換 ②うがい薬の常設 ③多目的室の移設を要求した。①について予算の範囲で随時更新していく。②について予算の問題で通年設置は難しい。③について東京航空局に依頼済みとのことだった。

所属長交渉への出席は今回が初めてだった。このように私たちの要求を直で伝えられる大切な会議だと感じた。

今後も私たちにとってより良い形となって返ってくることを願います。諦めず要求していきましょう。

(執行役員 C-4C下野)



交渉会議の様子

♪まりこの部屋♪ 第7回

<まりこの1年間の活動報告★ 編>

ハーイ、みなさま！ごきげんよう。

みなさんはお休みの日って何をなさってるんですか？歌ったり踊ったりですか？筆者はK-POPIに合わせてガンガン踊っていますよ！もうそれはそれはスゴイんだから。お見せ出来なくて大変残念です…。

さて、そんなことを言っている間に、航空管制支部の「2017年度」が8月にて終了することになりました。え？まだ2017年とか言っちゃっているの？というそのあなた！執行部の代わりは、年に一度の定期大会のあと。そう、8月なのです。今月もまた組合について詳しくなっちゃいましたね。イイ感じですよ。そのまま執行部まで突き進んで下さい！

というわけで、今月は「まりこの執行委員としての1年」を、超簡単に振り返ります。



バイバイ！門田前書記長

◆2017年8月 航空管制支部定期大会

物語はすべてここから始まった。「書記次長ってなに？書記長の次にエラいのかなあ？でも4人もいるから、そんなことはなさそうだなー。」結局書記次長は「なんでも屋（雑用係）」だということに、そのときはまだ気づく由もなかった。



足に「ボルト」が入っていた川田書記次長と

◆2018年1月 旗開き

準備がマジで大変すぎて、パニック。「門田書記長、忙しそうですから私が責任者を引き受けましょう！」なんて言わなきゃよかった。だがしかし、執行委員のみなさんの温かい励ましがああり、大成功。雑煮うまし！来場者多数！私は結局、来ない来賓をずーっと待ちぼうけ（涙）。

(7)

◆2月 全国青年運動推進会議

初めて全国会議の場で発言（チョーキンチョー）。懇親会にて北海道運輸支部の青年部長さんとお話をする。「うちの青年部は**32歳**で卒業なんすよ。」ゲツ！私、もうとっくに青年じゃないじゃん！チーン…。

◆4月 航空部門委員会

前回よりも大きな場で発言をするという大役を仰せつかる。「いろんな意味で震える」一日となった。改めて自分の膀胱の強さを確信。（なんのこともわからない方は、お近くの執行委員までお尋ねください）

◆5月 女性運動推進全国会議

「定員外職員の女性も、私たちと同じ女性として働く職員の仲間です。私たちと同じように休みが取れるようにして下さい！」と訴えたところ、「あなたが発言してくれたから、私たちも自分たちの休みの権利について自信を持って発言出来ました。ありがとう。」と、とある定員外職員さんに感謝される。さらに懇親会において、「あなたがあの**まりこの部屋**の方？」と、なぜか本部の方に握手を求められる。うれしい一日となった。

本当はあと5000文字位書きたいのですが、そのような暴挙は相当な「読者離れ半端ない」が予想されますので、やめておきます。

「いつも私たちのために、ありがとうございます。」と組合員の方に言われたとき、涙がちよちょ切れそうになりました。

執行委員やってよかったです★



来期も「前」だけを見て



同期の仲間がいっぱい



中川新書記長とゆかいな仲間たち

この一年、つらいことや苦しいこともありました。でもそれ以上に、得られたものがたくさんありました。困ったときはいつも仲間が助けてくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。人のやさしさが身に染みた一年でした（鬼の目にも涙）。←悪口を言った人、誰ですか？

来期も楽しく、みなさんと共に歩んでいきたいと思っています。それではごきげんよう★

（書記次長 C-2A飛田まり子）

ニュージーランド ～ポキッと紀行～

<第2話>

前回はなんと山に入るまでで終わってしまったNZ旅行記。果たして無事に帰れるのか、そして今回で完結できるのか？以下、3月19日の夜半からレポートです。

<心安らかに眠りたい>

夜半2時ごろ、雨が屋根を叩く音で目が覚めました。予報通りの強雨と風で、音が緩急をつけて響きます。オーケストラか。4時間後にはこの風雨のなか、遙か彼方の山小屋におけて歩き始めなければいけないのに、音は一向に弱まらず。なぜ二段ベッドの上に寝てしまったんでしょう。

引き返して帰る手段は無いものかと考えても、難しい。入り口のディバイドには路線バスが通っておらず、トレッキングする人が行きと帰りのバスを予約するシステム。電波の通じない山中では予約する手段がありません。私たちを運んでくれたミルフォード・サウンド行きのバスは、本来であればディバイドを時速50キロで通過するはずのバスで、昨日降るしてもらえたのは事前をお願いしていたから。残った手段は**ヒッチハイク**。ハードルが高すぎます。予約したのは、ディバイドとは反対側、ここから26キロ先の出口からクイーンズタウンに帰るバスだけなのです。

ほとんど眠れないまま、朝6時のアラーム。ハウデンハットの暗い大部屋を出てキッチンに降りると、弟は着替えと荷造りをほぼ終え、朝食の準備を始めていました。さすが、**元ラガーマン現ダンサー**、寝起きの素早さと体力に定評があります。でも、いつもはひょうきんな弟の顔が、少し強張っているのが暗がりの中でもみてとれました。

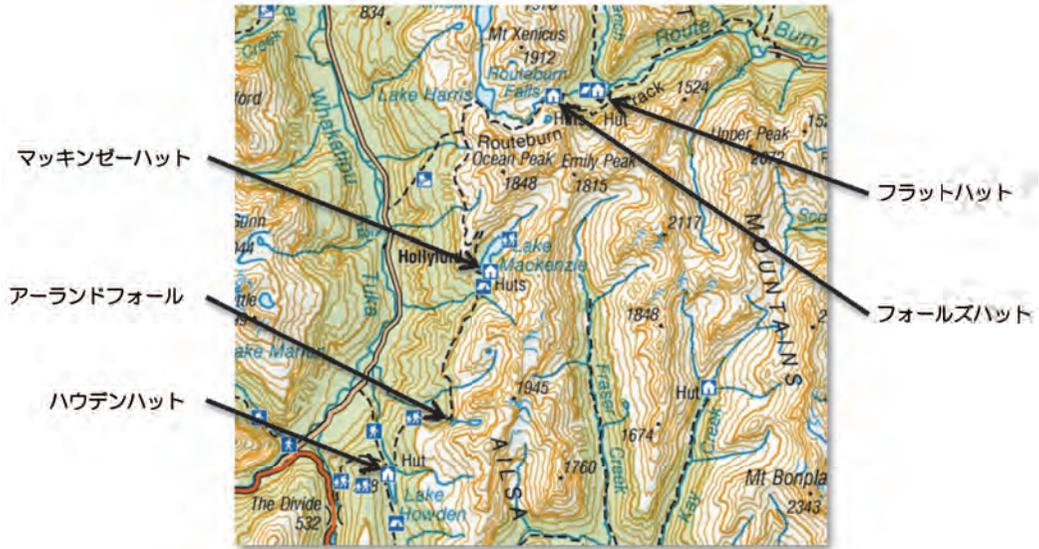
雨具を着て外に出てみると、しかし、音で想像したよりは雨足が強くありません。山小屋の屋根が音の出やすい素材だったのかも。雨具をつければ歩いて行けそうな気がします。決して快適ではないけれど、雷と雹に襲われた半年前の登山と比べれば随分とマシです。雷の予報はない、装備も整えた。ラスクとスープを食べて、気力を回復。**行こう**、と声をかけました。

朝7時、東の山に遮られて朝日は見えません。前に行く弟が懐中電灯を右手に。後ろの私がヘッドライトを装着。2日目の行程、23kmを歩き始めました。



現ダンサーの弟：康平

(9)



(黒い点線は登山道、この地図はニュージーランド自然保護局のHP <https://www.doc.govt.nz/> より引用しています。)

<生き残りたい>

暗い中、山を歩くのは初めてでした。左手に広がる森は日本と同じ温帯雨林で、どこか馴染みのある光景でしたが、暗さと雨のために先が見通せません。正しい道を進んでいるのかどうか、地図とコンパスを確認しながら進みます。

雨中の行軍で問題となったのは山からの雨でした。右手の山から左手の森に向かって雨水が幾本もの川になっています。川は1、2メートルほどの幅があり、川の中の濡れた石をどう足場にして渡るか、見極めるのに集中しなければなりません。歩くことに必死で、途中の大きな滝以外の写真は撮れませんでした。

滝は雨のために水量が多く、大迫力。観光船の時は楽しめたはずなのに、その時はただただ、大自然に畏怖の念を抱きました。

午前10時、岩肌と森が途切れ、山間に低木が茂る開けた土地に出ました。その真ん中にあるのがマッキンゼーハット、最初の目的地です。1泊目にこのハットが予約できれば、2日目の行程を短くできたのですが、今更言っても仕方ありません。早めの食事休憩を取り、残りの道のりを歩き切るための英気を養いました。

マッキンゼーハットを出発して、目の前の丘を越えたとき、突然、下から突風が吹き、前を歩いていた弟の体が崩れました。あまりの強風に私もよろめきながら、弟と荷物にしがみついて、飛ばされないように耐えました。突風は収まっても、風は強いまま。丘の向こうは谷になっていて、その底から雨を巻き込んだ強風が



アーランドフォール(175m)

吹き上げていました。風に耐えながら前の情景を見ると、黄緑色の丘と、深緑の谷底の間を、白い道がすーっと通っていて、それが霧と雲の合間から姿を見せては隠れていきます。**これがラピユタか。**ある意味で、天国に一番近い場所のようです。ここから先は、風を遮る森も山もないところを、暴風雨の中歩かねばならないのだから。

弟には二人分の寝袋を背負ってもらっていて、強風がその大きな荷物に直撃すると体が持つていかれそうになります。私も弟の荷物を掴んで支えるのですが、弟はその度に、荷物を風除けにしてるんだろ？と言ってきます。精一杯の軽口でした。

この行程は必死に、生き残ることだけを考えて歩きました。谷底は見ないようにして、足元と、先の道を見るようにする。怖いと思った時には、無事に山歩きが終わるイメージを持つようにする。風が強い時には、座って体制を整えて、無理はしない。水休憩は忘れずに。途中の写真は一切撮りませんでした。バックからカメラを取り出すことすら難しく感じたのです。

止まったら、死ぬ。懸命に歩いて、午後2時頃。頂上の避難小屋に、やっとの思いでたどり着きました。



－マッキンゼーハットでの風景－



－山小屋での現実逃避－

<生き残ったのか>

避難小屋には軽装備のカップルがいて、バケットとチーズとハムを拵げていました。まさか嵐の先の避難小屋で、優雅な午後のひとときを楽しむ人にお会いするとは思っていませんでした。聞くと、私たちとは逆の方向から歩いてきたといいます。ここは風が強いけど、僕たちが来た道はそうでもなかったよ、と教えてくれました。

神のお告げのようでした。**これ以上大変なことはないんだ！生きてハットに着けるんだ！**もう歩けないと思った体に、少し力が戻ります。

避難小屋から出て、最後の丘を超えると、風が本当に収まりました。眼下に低木と草の生えた原っぱと、岩がゴツゴツ出ているような道が見えます。下りの道です。雨は小降り。濡れた岩は滑りやすいので腰を低くしながら慎重に進みました。疲れのためか、時折滑りましたが、大きいお尻がクッションになってくれるので大丈夫。大変だけど、気分は晴れやかでした。途中で同じ方向に歩くガイド付きの団体に合流でき、さらに心強くなりました。

午後4時頃、先を歩いていた団体客が山小屋を見つけて、歓声をあげました。3つ目の山小

(11)

屋、滝のそばにあるフォールズハットです。団体客はここをベースキャンプにしているようで、素早く下って帰って行きました。私たちもここを2泊目に予約できればよかったのですが、今更です。少し休ませてもらおうかと覗いたのですが、すでにトレッキングを終えた人々がたくさんいて、装備を脱いだり飲み物を飲んだりしています。邪魔をするのは悪いと思い、軽く座ってからすぐに出発することにしました。幸い、私たちが目指す場所を示す標識はすぐ見つかりました。

Routeburn Flats Hut ← 1 hr

ここまで、休憩を含めて所要時間9時間、踏破距離20km。あと1時間、歩くだけだ！と勇気をもらいました。



－雨のルートバーン・トラッカー

<生き残ったのに>

フラットハットまでの道は坂になっていて、コース上で一番整備された道でした。森の中でしたが、雨は小降りになっていて、空は明るく、最初の道と比べれば気楽に進むことができました。道には木々から紅葉して落ちた、小さな黄色い葉っぱがたくさん落ちていました。南半球はこれから秋だな、と実感します。

時折、フォールズハットの方から、トレイルランをしていると思いき人がやって来て、私たちの横を颯爽と走り抜けて行きました。荷物はほとんど持たずに走れるのを羨ましく感じます。弟は坂道を足取り軽快に下りながら、時折止まって後ろの私を待ちます。

坂道が長く続くと、濡れた靴の中で足が前の方にずれて行き、つま先が辛く感じるようになりました。転ばないように足に力を入れますが、長時間歩いた足がストライキを起こしそうな気配を感じ、少しずつ下るペースが上がっていきました。

ちょうど1時間ほど歩いたころ、**フォールズハットはこちら**、という標識が見えました。先には階段のない坂が続いていて、左に曲がるその角で弟が待っています。

「夕飯はさー、ベーコン焼いてスープに入れようねー。」

「最後の晚餐だから、残りの食べ物全部入れようぜー。」

話しながら歩みをすすめ、目の前で待つ弟まで、あと一步というその時、**私の右足が内側に滑り、体が大きく崩れ、箸を横に割ったような、ポキッという軽い音が聞こえました。**

次号に続きます。

(C-6 B 加島)

航空管制支部クイズ 最終回

正解者の中から抽選で10名の方へクオカードを進呈！

当選者の発表は、支部組合室前に10月20日以降に掲示いたします。

*としまえんチケット販売終了に伴い行ってまいりましたが
組合財政難およびもっと多くの組合員に還元できる方法に移行するため
今月が最終回となります。多くの方のご参加ありがとうございました！

問題

2017年度執行部で一年間発行してきました月刊いるま、
その中でも大人気シリーズ『まりこの部屋』の第一回で
七変化可能な女優まりこが扮した女性は誰でしょうか？

最後はサービス問題です！

まり子の部屋どこかで聞いたことあるような・・・ルールル♪

答えは、組合室前銀のポスト横の封筒内にある用紙へ、
職場名及び氏名をご記入いただき、10月15日までに「いるま投函箱」まで！

～前回の答え～

航空管制支部は
全部で何職場あるでしょうか？
職場委員のみなさま
いつもありがとうございます！

答え：27職場



～27職場分の配布ボックス～

あたまたの体操



9月号

所属：

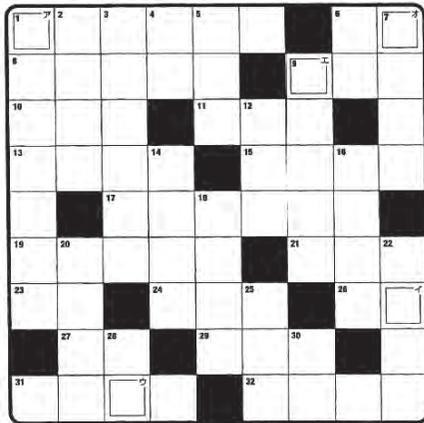
名前：

A C R O S S

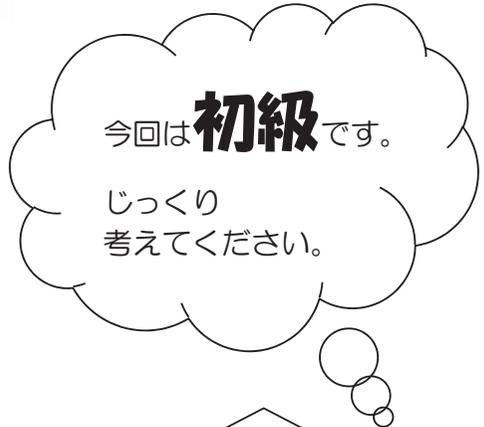
1. Soft animal fat; lubricant
6. Object form of / ("I"の目的格)
8. Lead for a pet
(犬などをつなぐ革ひもや鎖)
9. Offense against God
(神に対する冒とく→罪)
10. Type of insect
11. "The Pacific Ocean is the larg_____ ocean in the world."
13. Mix (かき回す)
15. Round containers used for cooking
17. Native of Nepal
19. Full of enthusiasm (熱心な)
21. Long, slippery fish
23. Ave.
24. Rule that is enforced by government
26. ___ long; good-bye
27. Opposite of off
29. "I haven't finished the book _____."
31. Unpleasant haze made of smoke and waste gases (煙や排気ガスから生まれる汚れた空気)
32. Past participle of do ("do"の過去分詞)

D O W N

1. Spectacles (眼鏡)
2. Money paid for a living space
3. Having a meal
4. As soon ___ possible
5. "Isn't that girl attractive? Who is _____?"
6. Do, re, ___
7. Finishes.
9. Past of *steal* ("steal"の過去形)
12. Resort place with a hot spring
14. Spool (糸巻き)
16. Fastens
18. Ask God
20. Smallest particle
22. Without other people or things
25. Marry
28. Opposite of yes
30. "I'm too tired ___stay awake."



A N S W E R



8月号の答え



「コウカテキメン」

—7月号の当選者—

- C-1 A 大森雄介
- C-2 C 永井暁子
- C-3 C 細川淑子
- C-4 A 徳田まどか

8名中正解者4名でした！
おめでとうございます☆

答えを書き込んで、組合室入口横の赤いポストに入れてください。所属と名前を忘れると0点です！

正解者の中から、抽選で5名の方に
QUOカード(500円分)をプレゼントします。

締め切り：10月20日17時

イルマルクン II

#016 きこの秋

作：おいら



編集後記

最近、チェキを買いました。すぐに手軽にプリントできるのが魅力です。 ぼうず

特技と言っちゃなんですがエナジードリンク飲んで爆睡できます。 ハザマ

グミとかゼリーとかプルプル系の甘味が好きなんですがあまり賛同を得られません。 ベー

夏って毎年こんな暑かったっけ？冷房なしでは寝られません… バルス

喫茶室の自販機に「五目おにぎり&からあげ」が復活して嬉しいです。今まで「焼きおにぎり」と「からあげチキン」を1箱ずつ食べていました。 マリン

【今月の表紙】

中秋の名月は月を跨ぐことがあるみたいですね。去年の中秋の名月は10月4日だったにもかかわらず9月号の表紙に「月」を持ってきてしまったので、今回は初秋のモチーフということで秋桜とワンちゃんにしました。

ちなみに今年の中秋の名月は9月24日らしいです。来月もよろしくお祈りします。

ぼうず

—航空管制支部組織率—

87.0%

(組合員数389人 / 職員数447人)

2018年9月1日時点

